





クリーンアップのメンバー一同



新年あけまして
おめでとうございます

クリーンアップ。清掃の仕事なら私たちにお任せ下さい。会社・施設・個人のお宅の清掃、何処のお掃除でも頑張ります。



もいわサポートセンター



新しい菓子工場で撮影



店舗内で撮影

お菓子工房ノフロ
お客様に喜んでもらえるお菓子作りと真
心のこもった笑顔の接客を心掛けて頑張
ります。



本年も
どうぞよろしく
お願ひいたします



「旧道ベーカリー デフィ」の2階。パン
を焼くいい匂いがする中、札幌市の委託事業
所として相談業務、計画作成をおこなってい
ます。
地域で暮らす障害者(児)の方達や家族、
支えてくれる地域の方達から信頼される事業
であると共に、関わる方たちが笑顔になれる
よう努力してまいります。

新年あけまして
おめでとうございます

ほつと相談センター



助成頂いたAEDを玄関
先に設置させて頂きました！

大友福祉振興財団様
ありがとうございました！

《ぞいわサポートセンター》

昨年九月八日、公益財団法人大友福祉振興財団様から、AED（自動体外式除細動器）の助成をいたしました。つるいわサポートセンターは、働くことを支援する事業所で、皆さん毎日元気に出勤してます。ですが、この南区中ノ沢の地域も高齢化が進んでおり、AEDを使う場面がないことが多いですが、事業所に通っている方を含め、万が一のことを考えると、この機器を助成いただき本当に安心しております。先日も事業所の前の歩道で倒れた年配の方がいて、保護させていただいたのですが、機器を使うことなくほととんど安心してこたがりました。



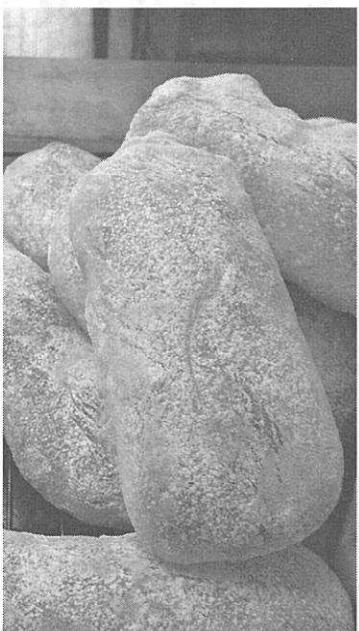
助成頂いたAEDを職員
室に設置させて頂きました！

平成二十七年九月八日に公益財団法人大友福祉振興財団様より、北の沢ディセンターハードにAED（自動体外式除細動器）の助成をいたしました。北の沢ディセンターハードは、定期的に障がいのある方の日中活動を支援する通所の施設です。

平成元年に開設した施設ですが、年々平均年齢が上がってきて、健康に関する関心も大きくなっています。また、施設のある札幌市南区北ノ沢地区は、札幌の中でも高齢化率の高い地域の為、今後もAEDの必要性が高まっています。

北の沢ディセンターハード今后は定期的にAED救命講習を実施したい、などという時には迅速に対応できるようにしていきたいと考えています。

12月の新商品



チヤバタ 70円（税込）

旧道ベーカリーdefi 情報局

デフイ

お豆腐を生地に練りこんだ、「チヤバタ」が新登場しました。「チヤバタ」とは、イタリア語で「スリップ」が語源の平たく四角い形のパン。昔々、あるパン屋さんが仕込み水を加え過ぎたことから生まれたといわれていますが、ちふとしたら失敗がおいしいパンのレシピ発見につながったんですね。デフイではそんなイタリア生糀の「チヤバタ」に北海道うさも加えて、北海道産小麦100%使用。キヌカオリを主原料に生

この実だより

地を作り、デフイの近所さんでもある安齋さんのお豆腐を生地に練りこむことで、さらに奥深い味わいに仕上げることができます。

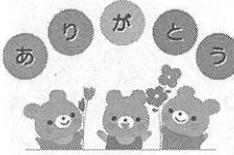
「チャバタ」はイタリア料理での「パスタ」や「スープ」の横に付け合せてよく知られています。パリフとした外皮とともに、クラム（中身）の食感をそのまま十分おいしく楽しんでいただけます。

また、札幌市中央部南4西5東急「プラザ」内にあるイタリア料理店「ピツツエリア&パールPACE」でも、デフイのチャバタ、ベーグルトが料理に使用されています。是非ご賞味ください！

おくりものありがとうございます

平成二十七年九月～十一月

札幌二ども専門学校 奥間美香 福地萬美
慈光学園 高倉和男 あむ 野倉宗平
富岡製糸 自立センター保護者会
みどりの会 札北荘保護者会
菊水ワーカセンター保護者会（敬称略）



金一封

平成二十七年九月

～平成二十七年十一月

この実親和会 近藤日出子 佐々木洋子
前田サヨ 上島損害保険事務所
(敬称略)

支える会のお知らせ

平成二十七年九月～十一月

会費收入
寄付金收入

0円

会費納入者・寄付者
近藤日出子 八木宏子 奈良賢子
奈良好美子 鎌田勝男 因口高子
(敬称略)

発行者 加藤 孝
編集者 札幌二の実会
住所 〒063-10049
札幌市西区西野九六九番地
発行 平成二十八年一月一日

この実だより 第二〇三号

編集後記

たつた一度のドカ雪から根雪になり、天気予報では暖冬とは言っていますが、積雪についてはどうなのでしょうか。养生さんと一緒に除雪で身体を動かす事は、とても楽しいですが、モノへ雪には限度はありません。戦々恐々としています。

さて、来るこの実だより話になつてから四回目の正月を迎えてします。前職の頃に比べまととでも穏やかな気分で過ごせています。昨年は、一泊で一軒、施設の旅行に一緒に行けて、养生さんの普段とは一味違つた笑顔をみるとことができて、とても有意義な時間を共にして、楽しかつたです。今年も様々な活動を通して、たくさんの表情と触れ合っていきたいと思います。

（この実だより編集委員 畠原淳矢）

